

アクティブラーニング 失敗事例ハンドブックより 得られた学び

豊橋創造大学短期大学部

講師 伊藤圭一



豊橋創造大学
豊橋創造大学短期大学部

沿革

昭和58年4月1日 豊橋短期大学開学

(幼児教育科・秘書科)

平成8年4月1日 豊橋創造大学開学

豊橋創造大学短期大学部に名称変更

平成10年4月1日 豊橋創造大学短期大学部

秘書科を同実務教育科に名称変更

平成17年4月1日 豊橋創造大学短期大学部

キャリアプランニング科開設

(公務員・ビジネス・医療事務・調理師の4コースを設置している)

教養教育・教養試験対策

キャリアプランニング科（女子のみの学科）

幼児教育・保育科（男女共学の学科）

教養教育はキャリアプランニング科教員が両学科
共通に行う科目も多く存在しています。

キャリアプランニング科では

入学準備学習・教養試験対策などの内製化を実施
している。

高校時代に諦めても 短大でまた取り返す

開始してから4年目で

幼児教育・保育科

キャリアプランニング科

公務員試験1次試験合格者増

筆記試験の難しい大手企業に内定も増

といった成果をあげている。

勉強を諦めない姿勢が身に付き始めた



豊橋創造大学

豊橋創造大学短期大学部

単なる試験対策では
内定はおぼつかない
教養試験の対策をしながら
社会人基礎力の育成にも力を注いでいます



教養試験対策にも
アクティブラーニングを導入



小さなところからコミュニケーション力を
身につける努力をしよう！

アクティブラーニングとして プロジェクト活動

答えの用意されていない課題に取り組むことによって、自主性や創造性、さらにはリーダーシップや他者との協働がいかなるものであるのかを実地体験を通して学びという活動をする時間があります。

これは地域産業界連携教育力改革プロジェクトの一環です。

「アクティブラーニングを通じた教育力形成」

- 本補助事業は、産業界ニーズに対応した人材育成を大学や短期大学などの高等教育機関で実施するための体制整備を進めるための補助事業として、平成24年度に文部科学省に創設された事業です。
- 中部圏では、「アクティブラーニングを通じた教育力形成」「地域・産業界との連携力形成」を目的とした事業を中部圏23大学の共同事業として申請して採択されました。
- 中部圏23大学では、主に教育力を探求する「東海A(教育力)チーム」、産業界ニーズ把握方法を探求する「東海B(産業界ニーズ把握)」、「北陸地域チーム」、「静岡地域チーム」の4グループに分けて、教育方法や産業界ニーズ把握方法について考え方や方法論を取りまとめるとともに、それらを共有することによって、教育力向上を目指す事業になっていました。



取組名称：中部圏の地域・産業界との連携を通じた教育改革力の強化

中部圏産学連携会議

中部地域大学グループ

教育力

取組テーマ：アクティブラーニングを活用した教育力の強化

[東海地区]

東海Aチーム
(教育力強化)
7校

《副》名古屋商科大学
幹事校 三重大学
愛知産業大学
椋山女学園大学
中部大学
豊橋創造大学
豊橋創造大学短期大学部

東海Bチーム
(連携力強化)
6校

《副》名古屋産業大学
岐阜大学
同朋大学
日本福祉大学
名城大学
愛知大学短期大学部

[静岡地区]

静岡チーム
(教育力・連携力強化)
4校

《副》静岡大学
静岡理工科大学
静岡英和学院大学短期大学
東海大学短期大学部

[北陸地区]

北陸チーム
(教育力・連携力強化)
6校

《副》金城大学短期大学部
金沢大学
福井大学
富山県立大学
富山国際大学
金沢工業大学

連携力

取組テーマ：地域・産業界との連携力の強化

アドバイザーボード
助言・検討

産業界

中部電力㈱
リカフーズ㈱
ITB中部
マツ
百五銀行

経済団体

産業者協会(東海北陸7県)
中部経済連合会

行政機関

経済産業省/
中部経済産業局
厚生労働省/労働局

教育機関

法法人河合塾

④ 4つの教育事業

本学が取り組んだ取り組みの紹介

- メンタルタフネス講座
- 自己理解促進プログラム
- 地域企業連携プロジェクト
- 3者間協働インターンシップ（学部）

アクティブラーニングの手法を使った教育
経験の共有（短大）

4大と短大の違い

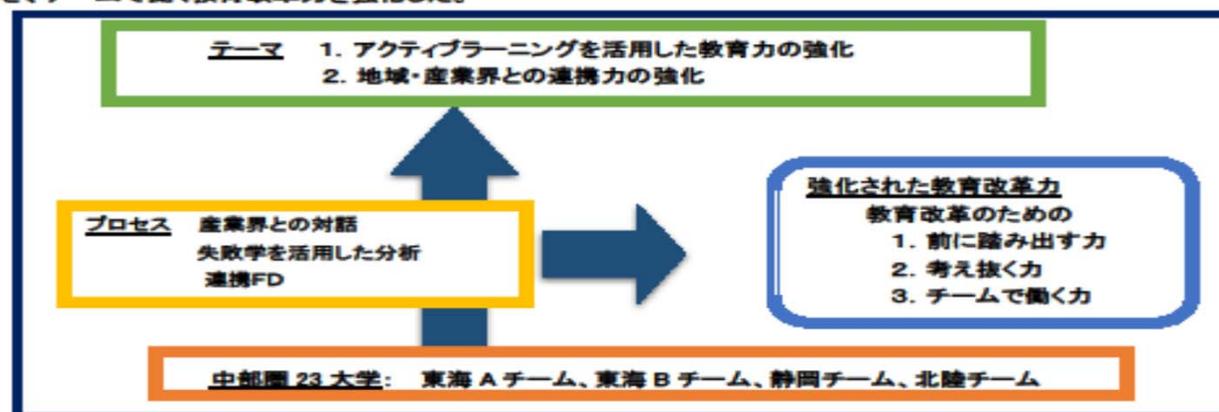
産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業

【テーマA】教育改善・充実体制整備 最終評価結果

大学グループ名	三重大学グループ
取組名称	中部圏の地域・産業界との連携を通じた教育改革力の強化
取組テーマ	1. アクティブラーニングを活用した教育力の強化 2. 地域・産業界との連携力の強化
取組担当者	三重大学 学長補佐（キャリア教育担当） 中川 正
連携校名 （★幹事校）	金沢大学、福井大学、岐阜大学、静岡大学、★三重大学、富山県立大学、富山国際大学、金沢工業大学、静岡理工科大学、愛知産業大学、福山女学園大学、中部大学、同朋大学、豊橋創造大学、名古屋産業大学、名古屋商科大学、日本福祉大学、名城大学、金城大学短期大学部、静岡英和学院大学短期大学部、東海大学短期大学部、愛知大学短期大学部、豊橋創造大学短期大学部（計23校）

事業概要

本事業は、中部圏 23 大学が産業界と対話を行い、産業界ニーズをくみ上げつつ、アクティブラーニングを活用した教育力の強化、地域・産業界との連携力の強化を目指した取組である。中部圏 23 大学を 4 つのチームに組織し、テーマの追求の過程で生じる課題を失敗学的手法を取り入れつつ分析し、前に踏み出し、考え抜き、チームで働く教育改革力を強化した。



最終評価結果<総合評価> S

<コメント>

大学と産業界との間で「育成すべき資質」に関する共通理解が深められ、アクティブラーニングを活用した教育力の強化と、「中部産学連携会議」の設立による地域・産業界との連携強化により、成果をあげている。特に「失敗学」の導入が、地理的に離れた23校の連携強化にもつながり、成果を一段と押し上げている。『アクティブラーニング失敗事例ハンドブック』、『インターンシップ失敗事例ハンドブック』の作成は他大学、他グループでも実務者を中心に活用可能な有効な成果物である。支援期間終了後についても、「中部圏教育改革ネットワーク」を設立して更なる教育改善や地域産業界との連携のあり方に関する活動を継続するという点について、当初の計画を越える取組の継続として評価する。実現に向けて更なる取組の強化を期待する。

一方で、企業との真摯な話し合いの進展の過程が見えづらい点や、事業の核とした「失敗学」の分析と、全体テーマとの関係が明確でない点は、改善の余地があり、今後の課題と思われる。また、評価基準及び評価方法をさらに進化させるための課題の明確化が必要であり、設立した「中部圏教育改革ネットワーク」については、今後の具体的な行動計画の策定が必要である。

東海Aチーム
(教育力)

名古屋商科大学

三重大学

愛知産業大学

椋山女学園大学

中部大学

豊橋創造大学

豊橋創造大学短期大学部

失敗事例

これからアクティブラーニングが大学教育界に広がり深まるときに、どのような**躓きの石**があるかを知り、これを注意深く吟味しながら教育を設計することができるようになるための**知識化**を試みています。

それが失敗の原因と結果のマンダラであり、典型的なケース集です。(まえがきより)

つまり

初めてのことはうまくいかないから、乗り越えるべき壁を例示したもの

なるほど 誰もが通る道です

- ①学生間の温度差
- ②教員の関わり方
- ③評価の困難さ
- ④客観性の欠如
- ⑤能動的学修の一過性

成功よりも失敗は
共感を得やすい
とりあえずやりましょう



振り返り



授業改善を行う



そのための失敗事例

まとめると見えてくる

それぞれの事例に
それぞれの対応事例を掲載しました。
ただ、これがすべての事例に適応するとは限りません。
つまり

・・・マニュアルではないのです！！



豊橋創造大学
豊橋創造大学短期大学部

マニュアルを求めてしまうのは 方法論に陥りがちだから

アクティブラーニングがそもそも方法として定義をされたので、

- グループワーク
- プレゼンテーション
- ディベート
- 振り返り

など**手法ばかりに気を取られている**のですが

失敗事例に対する処方箋はない

ただ、共通して言えるのは
問題が起こった



学生の状況をよく見た



対応した

原因は学生にあっても責任は教員にある

＝教育に責任を持つ



目の前の学生をよく見ること

- 目の前の学生が何のために座っているのか？を考えてアクティブラーニングを実践することが大切です。

学生のニーズをとらえることは
決して学生におもねることではなく
学生に受け入れられる講義をすることは
講義の質を高めることにつながります

アクティブラーニング

学生のやる気にスイッチを入れること、そのきっかけがアクティブラーニングなのです。

教室の中がやる気の雰囲気満たされている講義は素晴らしいです。

そういった講義は質が高くそして

人に見せることもできます

学校にとって大切な財産になるはずです。

(商品と言ってもよいと思います)



アクティブラーニングについての 学内FDの講演を担当しました

- アクティブラーニングを取り入れましょう
というFD講演を学内に向けて行いました。
授業案を作り皆さんに提示をしました。

なぜ、授業案なのか？

- 授業案は
目標と
講義の内容と所要時間
想定される学生の反応を書きます

暗に「目の前の学生のことを見てくださいなね」
というメッセージを発信しました

先生方の反応

- 自分の講義はアクティブラーニングなのか？
という質問をいくつもいただきました。

「学生が自ら学ぼうという姿勢になっていれば
アクティブラーニングです」

とお答えしました。

講義経験の長い先生は、動機づけだけで学生をやる気にすることができます。

事務局の方のおかげ

このFD講演は高い出席率でした。

事務局の方が日程に工夫を凝らして

・成績の締切日の午後

に設定をしてくださいました。

告知も頻繁にしてくださり、高い出席率を数えることができました。

教員と事務局のつながりも学内では大切なことです。

アクティブラーニングが 上手くいっているか？ 見分けるコツは

一見したただけではわからないし
結果が出るまで見極めがつかない・・・
そんなときの見分け方があります・・・

